

13

とびひ（伝染性膿かしん^{のう}）

火事の飛び火のように全身に広がる様子から「とびひ」と呼ばれます

1 病原体名

黄色ブドウ球菌やA群溶血性レンサ球菌

2 年齢層

乳幼児・小児に多い

3 潜伏期間

2～10日（長期の場合も）

4 症状とケア

- ☑ 紅斑（赤い発しん）を伴う水ほう（みずぶくれ）がやぶれて、そこをかいた手で体の他の部分を触ると全身に広がります。かゆみが出ることがあります。
- ☑ 黄色ブドウ球菌は水ほうをつくりやすく、A群溶血性レンサ球菌はかさぶたになりやすいです。
- ☑ きちんと手を洗い、症状のある部位は触らないようにします。ひっかかないように爪は短めに切りましょう。夏に多いので、1日1回はシャワーを浴びて、皮膚の清潔を保つことも大切です。

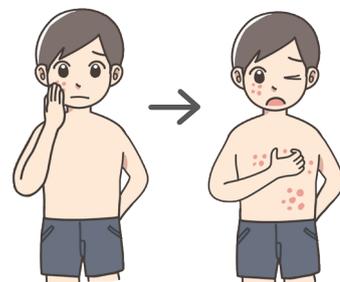
- ✔ 症状のある部位はガーゼなどで覆いましょう。
- ✔ 受診し、患部をガーゼや包帯で覆った状態であれば、学校への出席停止の決まりはありません。一方、保育園などで登園できる条件を設けていることもあります。事前に園に確認しましょう。

5 診断と治療

- ✔ 皮膚の症状から診断します。
- ✔ 治療は、症状に応じて塗り薬や飲み薬の抗生物質を使います。症状のある部位は、シャワーの後に塗り薬を塗ってガーゼで覆いましょう。

6 家庭に持ち込まないために

- ✔ 特別なワクチンはありません。
- ✔ 感染経路は接触感染です。顔回りを触った手であせもや虫刺されなどをひっかくことで感染して広がります。
- ✔ 原因となる病原体は、常に皮膚にいますが、普段は症状が出る訳ではありません。
- ✔ 皮膚を清潔に保ちましょう。保湿剤などを使って皮膚のバリア機能を保ちましょう。



7 周囲に広げないために

- ✔ 治るまで、プールの利用は控えましょう。
- ✔ 症状のある人とタオル類の共用はやめましょう。